

米CDC、数週間以内に新型コロナとRSウイルス感染拡大を予想

2024年11月21日ロイター



11月20日、米疾病対策センター（CDC）は、新型コロナウイルスと呼吸器合胞体ウイルス（RSウイルス）の国内感染が今後数週間で拡大するとの見通しを示した。ジョージア州アトランタ

[20日 ロイター] - 米疾病対策センター（CDC）は20日、新型コロナウイルスと呼吸器合胞体ウイルス（RSウイルス）の国内感染が今後数週間で拡大するとの見通しを示した。

年末の休暇シーズン中は、大勢の人々が集まり、旅行し、室内で過ごす時間が長くなるため、ウイルスが広がりやすくなる。

CDCは、インフルエンザと新型コロナウイルスによる入院患者が今後数週間のうちに増加し始めると予測している。また米南部および東部では特に幼児のRSウイルス感染が増えている。

米食品医薬品局（FDA）は8月、米ファイザー・独ビオンテックと、米モデルナがそれぞれ開発した改良型の新型コロナワクチンの使用を承認。米ノババックスのタンパク質をベースにした従来型のワクチンの緊急使用も認めている。

現時点で、FDAは英グラクソ・スミスクライン（GSK）、モデルナ、ファイザーがそれぞれ開発した3種のRSウイルスワクチンを承認している。

CDCのデータによると、10月5日時点で18歳以上の成人の11.2%が新型コロナワクチンを、75歳以上の36.9%がRSウイルスワクチンをそれぞれ接種している。

トランプ氏、FDA長官にワクチン義務反対派を起用の公算＝関係筋

2024年11月21日ロイター

[20日 ロイター] - トランプ次期米大統領は、食品医薬品局（FDA）長官にジョ

ンズ・ホプキンス大外科教授のマーティン・マカリー氏を起用する可能性が高いことが、事情を知る2人の関係者の話で20日、分かった。

マカリー氏は新型コロナのパンデミック（世界的大流行）発生時、多くの公衆衛生上の問題に懸念を提起。ワクチン接種義務化に反対し、自然感染による免疫獲得が効果的と訴えた。

FDAを所管する厚生省のトップ、厚生長官には環境活動家でワクチン懐疑派として知られるロバート・ケネディ・ジュニア氏の起用が既に発表されている。



11月20日、トランプ次期米大統領は、食品医薬品局（FDA）長官にジョンズ・ホプキンス大外科教授のマーティン・マカリー氏を起用する可能性が高いことが、事情を知る2人の関係者の話で、分かった。メリーランド州ホワイトオークで2020年撮影（2024年 ロイター/Andrew Kelly）（ロイター）